

現代パキスタンにおけるパルダの機能

都市高学歴女性の語りを通して

賀川恵理香（京都大学）

本発表の目的は、現代パキスタンにおける都市高学歴女性たちの語りを分析することによって、彼女たちの間で、パルダがどのように機能しているのかを明らかにすることにある。

先行研究において、パルダとは、インド、パキスタン、バングラデシュを中心とした南アジア地域に広く存在する男女分離や女性隔離の制度であると定義されており、その実践として身体的に居住空間を分離（segregate）することと、女性が顔や身体を隠すことの二つの側面が存在するとされている [Haque 2003]。パルダの実践としての女性の被服は、「持ち運び可能な隔離（portable seclusion）」と呼ばれ、隔離状態を保ったまま女性が外出することが可能であるとされる [Papanek 1973]。パルダにおける女性隔離の側面は、女性に対して抑圧的であるとしてしばしば批判されてきた [White 1977]。

一方で、パルダの実践は社会経済状況に応じて変化することも指摘されている [池田 1994; Haque 2003]。例えば、独立期のバングラデシュにおいては、経済状況の悪化に伴い女性が隔離状態を抜け出して外に働きに出るようになったという [Feldman & McCarthy 1983]。このことは、女性たちの置かれたコンテキストに合わせてパルダの実践や機能を分析する必要があることを示している。

本研究において対象とするのは、現代パキスタン都市部の共学大学に通う女子大生たちである。その多くが大学の女子寮に住み、大学のキャンパス間を移動したり、友人らと一緒にマーケットやショッピングモールに買い物へ行ったりする彼女たちは、日頃から見知らぬ男性たちの存在する場に足を運ぶ機会を持つ。ここで注目すべきは、彼女たちが状況に応じて被服の程度を変えていることである。例えば、調査対象者のある女性は、大学内で男性と交わる機会が十分にあるにもかかわらず、通学時に着用していたヴェール（この場合は頭と身体を覆い）を大学構内では脱いで生活しているという。

このような女性の行動は、女性を公的空間から隔離する、というパルダの伝統的な価値観からすれば規範からの逸脱ともとれる。特に、状況に応じて見知らぬ男性たちの前で被服の程度を軽くするという行為は、パルダの実践としての「持ち運び可能な隔離」という機能を完全に失わせることとなる。しかし、だからといって彼女たち全員がパルダの規範に反対しているわけではない。むしろ、調査対象者のなかで状況に

じて被服の程度を変えると回答した 46 名中、41 名の女性たちが、パルダを実践していると回答した（部分的に実践しているという回答を含む）。ここから、彼女たちにとってのパルダの概念は、女性隔離の意味をほとんど失っていることが考えられる。

では、彼女たちはどのようにパルダの規範を解釈し、そしてどのようにそれらの規範と交渉しながら都市空間を移動しているのであろうか。本研究においては、パンジャブ州の州都ラーホールにおけるパンジャブ大学とガバメント・カレッジという、2つの公立大学に通う女子大生を対象として参与観察とインタビュー調査を実施した。ラーホールの人口は約 1112 万人で、パキスタン随一の大都市カラチに次ぐ大都市である。調査期間は、2017 年 8 月 1 日から 9 月 15 日（予備調査）、2018 年 7 月 1 日から 8 月 26 日（本調査）の計 3 ヶ月半である。現地調査では計 70 名の女性たちから聞き取り調査を行い、どのような場面でどのように装うのか、そしてパルダをどのように解釈しているのかを尋ねた。なお、聞き取りにおいては英語で作成した質問用紙を用い、聞き取り調査はパキスタンの国語であるウルドゥー語で実施した。

本発表においては、実際のフィールドデータをもとに、調査対象者の女性たちの間でパルダがどのような機能を果たしているのかを明らかにする。現代パキスタン都市部というコンテキストにおいて、性別規範としてのパルダの機能を明らかにすることは、現地における男女関係のあり方を明らかにすることにも繋がりうる。

参考文献

- Feldman, Shelley and McCarthy, Florence, E. 1983. Purdah and Changing Patterns of Social Control among Rural Women in Bangladesh, *Journal of Marriage and Family* 45, (4): 949-959.
- Haque, Riffat. 2003. *Purdah of Heart and the Eyes: An Examination of Purdah as an Institution in Pakistan*, Thesis (PhD). University of New South Wales.
- 池田恵子. 1993. 「バングラデシュの米収穫後処理業における女性労働: パルダ規範の変容をめぐる」『女性文化研究センター年報』7: 63-79.
- Papanek, Hanna. 1973. Purdah: Separate Worlds and Symbolic Shelter, *Comparative Studies in Society and History* 15, (3): 289-325.
- White, H., Elizabeth. 1977. Purdah, *Frontiers: A Journal of Women Studies* 2, (1): 31-42.

キーワード 性別規範 パキスタン 女性 語り